

Table 1 ベンジルアルコールを含有する塗膜剥離剤による健康被害事例における、事故の発生状況と症状、臨床経過

症例No.	1	2	3	4	5	6	7	8
発生年月	2014年3月	2014年8月	2017年8月	2017年11月	2018年6月	2018年6月	2018年11月	2019年7月
年齢 性別	30代男性	10代男性	40代男性	30代男性	30代男性	30代男性	20代男性	20代男性
使用した製品	製品A	製品B	製品C	製品C	製品D	製品E	製品C	製品F
ベンジルアルコール濃度	10%以下	30%以上	30%以上	30%以上	30%以上	10~30%	30%以上	10%以下
状況・ 作業環境	状況 休憩中にトラ ブル(剥離剤 を塗った塗膜 が落下)	作業中に意識 障害出現	作業中に意識 消失 最終確認から 10分で発見	作業終了後、 帰宅時に意識 障害出現	作業中に意識 消失 最終確認から 20分で発見	熱中症疑いで 当日受診、症 状継続	作業中に意識 消失 最終確認から 60分で発見	作業中に症状 出現
場所	屋外		屋外 高速道路高架 下 目張りした閉 鎖空間	屋外 歩道橋下 覆いを付けた 状態	屋外 橋の下 周囲を囲って 空気穴が空い た状態の足場	屋内	屋外 道路高架下 換気状態の悪 い足場	
作業時間		3.5時間	5時間	8時間	3時間		長時間	
保護具	マスクあり (トラブル発 生時はなし)	マスクなし	マスクあり 防護服あり	マスクあり (フィルター 付き全面体)	マスクなし		マスクあり (全面体) 防護服あり	マスクあり
臭気	院内で呼気か ら強い刺激 臭、衣服汚染 あり		来院時、衣服 から刺激臭	帰宅時点で衣 服から溶剤臭			衣服に溶剤が 染みていた	
受診	3時間後	1.5時間後	2時間後	翌朝(14時間 後)	1.5時間後	翌日	45分後	3.5時間後
症状	意識障害 (意識清明)	あり 朦朧、昏睡 (数時間で回 復傾向)	あり 昏睡(2日目に 回復) 見当識障害	あり 会話の混乱、 不穏	あり 昏睡、泥酔、 酩酊、ほろ酔 い様の経過、 意識障害	あり 翌日、会話の 混乱、酩酊様 状態	あり 意識消失、不 穏	なし (意識清明)
代謝性アシ ドーシス			あり (アニオン ギャップ開 大)	あり (アニオン ギャップ開 大)	あり (アニオン ギャップ開 大) 浸透圧ギャッ プ異常なし		あり 浸透圧ギャッ プ異常なし	
高次脳機能 障害			あり 第23病日には 改善		あり 数日で改善		あり 3ヶ月後も残 存、9ヶ月後 には改善	
分析			尿：馬尿酸検 出 血清：ベンジ ルアルコー ル、馬尿酸検 出		尿：馬尿酸検 出		尿：馬尿酸検 出	
転帰	略治 (通院2日)	(追跡調査不 可)	退院 (入院24日)	完治退院 (入院4日)	完治退院 (入院12日)	(追跡調査不 可)	略治退院 (通院6日)	不明 (当日受診の み)
重症度	軽症		重症	重症	重症		重症	重症

症例3は文献6)と同一症例である。空欄は不明もしくは確認できていないことを示す